

小学校 第4学年 給食時間の学習指導案

1 題材名 「煮干しを食べよう」

2 題材設定の理由

長崎県は、漁獲量が多い水産県である。給食でも、魚を身近に感じるよう多く取り入れている。しかし、魚嫌いや骨のある魚を苦手とする児童がいる。そこで、もっと魚に親しみ、進んで食べようとする意欲をもたせたいと考え、本題材を設定した。

3 本時の目標

長崎でとれる煮干しを知り、魚に親しみをもち、進んで食べることができるようにする。

4 食育の視点

心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。（心身の健康）

5 他教科との関連

社会科 「長崎県の産業の学習」

6 本時の展開

過程	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資料
食前	○給食の材料に長崎県でとれた煮干しがあることを知る。	○長崎県が漁業が盛んなことに注目し、煮干しが給食に使われていることを知らせる。	長崎県の地図 魚の写真
食事中	○味わって食べる。	○味わって食べるよう促す。	
食後	<p style="text-align: center;">長崎でとれる煮干しを食べよう</p> ○煮干しの栄養について知る。 ○長崎でとれる魚を知り、進んで食べようとする意欲をもつ。	○煮干しの栄養について知らせる。 ・たんぱく質 ・カルシウム ・かむことの大切さ ○給食では、県産の魚を多く取り入れていることを伝え、からだによい魚を進んで食べようとする意欲をもたせる。	煮干し

7 指導のつながり

・給食だよりや掲示、放送資料等で長崎県でとれる他の魚について紹介する。